

# 二級河川 耳 川

土地利用一体型水防災事業

## 諸塚中心部

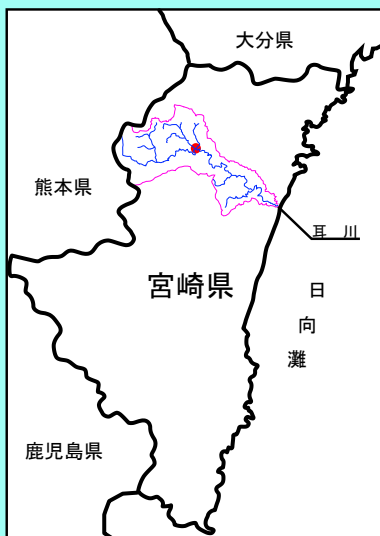
〔平成26年10月撮影〕



〔昭和半ば頃〕



〔水防災事業前〕



〔水防災事業後〕

平成27年3月  
宮崎県日向土木事務所



## 諸塚中心部 土地利用一体型水防災事業概要

耳川河川整備計画で検討された洪水規模に対応した整備を行い、安全で安心して暮らせるよう治水安全の向上を図りました。

- 事業期間：平成20年度～平成26年度
- 全体事業費：約43億円(宮崎県:約27億円、九州電力約16億円)
- 計画流量：4,000m<sup>3</sup>/s(耳川本川)
- 工事内容：擁壁や盛土、橋梁の架け替えにより、道路や宅地の嵩上げを行いました。架け替えた新塚原橋において、約5.7mの嵩上げ高さとなっています。

## 土地利用一体型水防災事業とは

上下流バランス等の関係から長期間河川改修の実施が困難な地域において、住宅・宅地等を洪水被害から守るために住宅地の嵩上げや輪中堤等の築堤事業を実施することで、短期間かつ経済的に家屋浸水に対策を実施します。

●イメージ

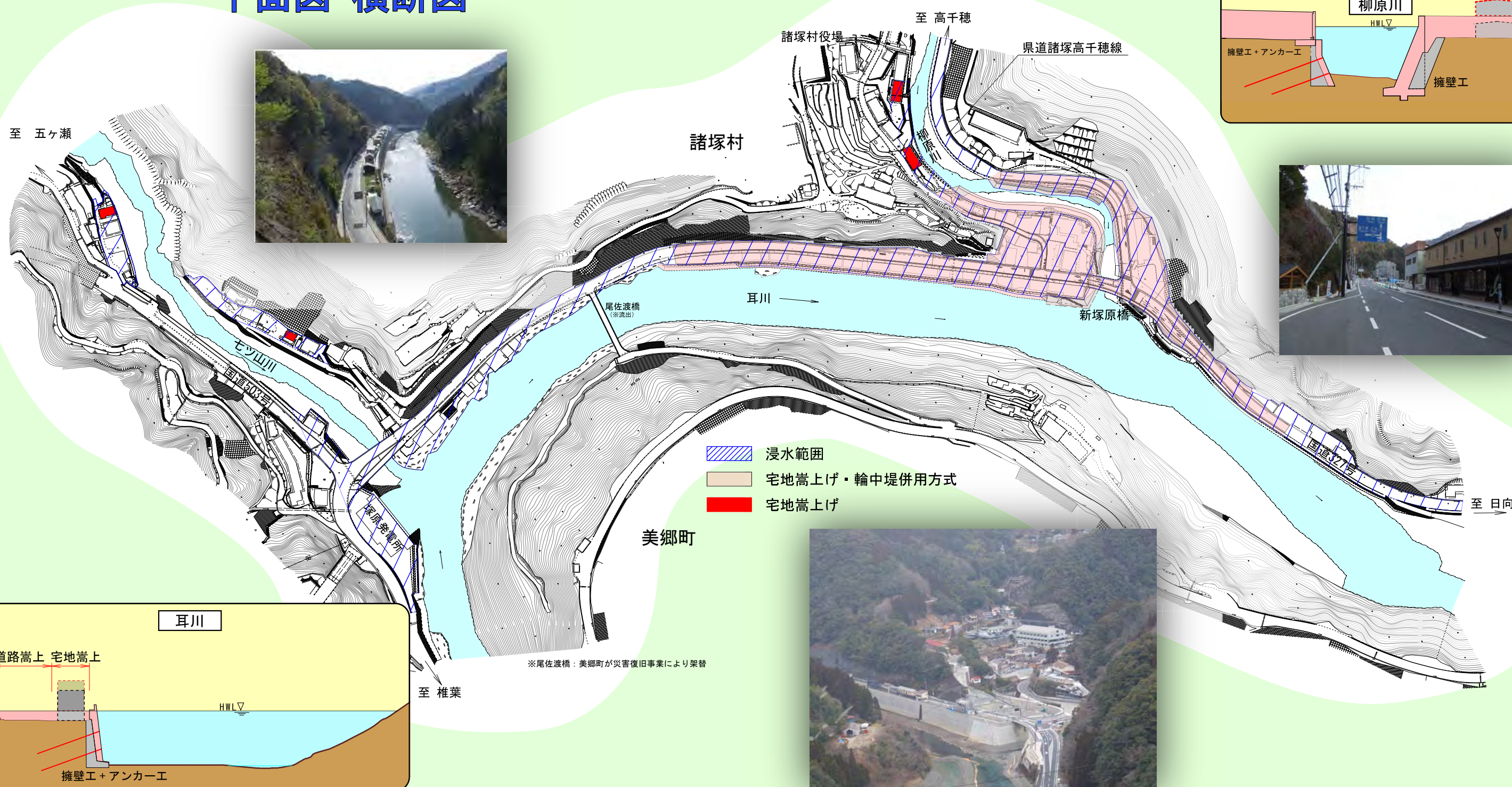


家屋の移転が必要となるなど完成までには多大な費用と期間が必要



輪中堤や宅地嵩上げを効率的に短期間で実施することにより、家屋の浸水被害を解消

## 平面図・横断図





# 耳川 諸塚中心部における復興への取り組み

諸塚村においては、台風14号の記録的な豪雨により、街の中心部が壊滅的な被害を受けたため、宮崎県では耳川河川整備計画の見直しを行い、平成20年度より治水対策事業【土地利用一体型水防災事業】に着手しました。（※土地利用一体型水防災事業は、通称、水防災事業といいます。）

また、耳川総合土砂管理計画に基づき、九州電力においても、既存の利水ダムを改造し排砂機能を付加することで、上流から供給される土砂を下流に流下させ、河川やダムの堆積土砂を少なくすることにより、諸塚中心部の治水安全度を高めることとしています。

さらに、諸塚中心部の商店街は諸塚村のシンボリックなエリアであり、治水対策事業と併せた一体的、かつ、活気あるまちづくりを行っていくため、地元住民と事業者が連携したまちづくり整備に取り組んでいます。



## 水防災事業と連携した活気あるまちづくり

商工会を中心とする地元住民においては、諸塚村商店街が大きく変わるこの機にあって、水防災事業の従来型の嵩上げ工事に終わるのではなく、村の中心部としてふさわしい、活気あるまちとなるよう、事業と併せて一体的なまちづくりを整備をしていこうという機運が高まり、「諸塚村まちづくりビジョン策定委員会」を立ち上げました。

縁を紡ぐ互縁社会が真の価値を生む「協創の森 諸塚」を基本コンセプトに村づくりを進めている諸塚村の中で、諸塚中心部はそのシンボリックなエリアであり、シンボルとしての交流空間、商業空間の創出が望まれており、その委員会において、外壁の意匠を統一したり、建物の高さを抑えたりするなどの「諸塚地区景観ルール」の策定や事業者が実施する整備方法に対する検討が行われました。

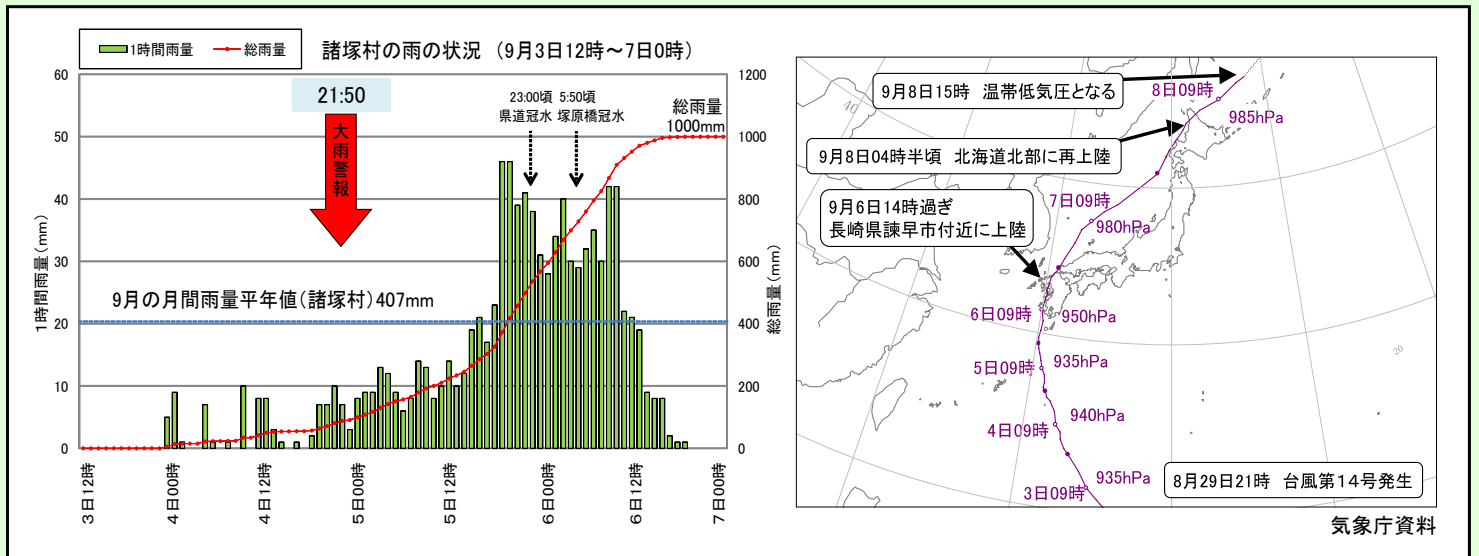
その検討結果を受け、地元住民においては、「諸塚地区景観ルール」に基づいた家造りが行われ、また、宮崎県・九州電力においても、コンクリート表面に擬岩模様が現れる化粧型枠の採用や橋梁親柱の工夫、防護柵の着色などを実施し、さらに、諸塚村においては、「まちづくり交付金」を活用した街並みと調和した歩道や照明の整備が実施されるなど、地元住民と事業者が連携したまちづくり整備に取り組んでいます。



# 台風14号(平成17年9月)被災状況

平成17年9月に日本列島に襲来した大型で非常に強い台風14号は、九州をはじめ、西日本各地に記録的な豪雨をもたらし、諸塚村においては、9月3日から9月6日にかけて総雨量1000mmが観測されました。

この降雨だけで平成17年の年間降雨量の約45%を占め、9月5日の468mm、9月6日の438mmは、諸塚村で観測を始めた昭和54年以降の日雨量として、1番目と2番目の記録となりました。



**諸塚地区において、甚大な浸水被害が発生  
家屋の全壊28戸を含んで床上浸水67戸、床下浸水3戸**





# 耳川水系総合土砂管理計画

耳川における浸水被害は河川やダムへ流入してくる土砂の堆積がその原因の一つとなっていることから、山地を含めた流域全体での総合土砂管理について検討していくことが大きな課題となっていました。

このようなことから、耳川水系の山地から河川、ダム、河口域までの土砂に起因する様々な課題に対して、関係機関と情報を共有しながら連携・協力し、総合的な土砂管理の課題解決に向けて、技術的に検討することを目的に、学識経験者等からなる耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会を設置しました。

総合土砂管理の実施にあたっては、関係市町村、関係者、地域の方々の合意形成が重要であることから、地域の方々を含めて議論する場としてワーキンググループを設置し、流域共通の目標である「基本的な考え方」と、役割分担を明確にした「行動計画」とで構成された「耳川水系総合土砂管理計画」を策定しました。

今後は、関係者が「耳川水系総合土砂管理計画」で策定した「行動計画」に基づき実施した行動の効果を評価し、地域の意見を反映しながら、必要に応じて、「行動計画」を改善していくこととしています。

## 【耳川水系総合土砂管理の「目標」】

「耳川をいい川にする。～<sup>もり</sup>森林とダムと川と海のつながり～」



耳川水系概要図



耳川のあるべき姿

## 諸塚中心部 水防災事業のあゆみ

平成 17 年 9 月 4 日 ～ 9 月 6 日	台風 14 号による被災
平成 18 年 3 月～ 平成 18 年 12 月	耳川技術検討委員会（第 1～5 回）開催
平成 19 年 9 月～ 平成 19 年 12 月	耳川河川整備計画検討委員会（第 1～2 回）開催
平成 20 年 4 月	耳川（諸塚）水防災事業 新規採択
平成 21 年 3 月	耳川河川整備計画策定
平成 21 年 7 月～ 平成 23 年 10 月	耳川総合土砂管理に関する技術検討会（第 1～5 回）開催
平成 23 年 10 月	耳川総合土砂管理計画策定
平成 27 年 3 月	耳川（諸塚中心部）水防災事業 竣工式



# 宮崎県日向土木事務所

〒883-0046 宮崎県日向市中町 2-14  
TEL (0982) 52-4171 (代)

